

# こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442

日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130

市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp) 2018年9月9日号



## 問題のある民泊への指導を 各地域の周辺住民の皆さんが市に要請

8月29日、南区内各地域の民泊周辺の住民の皆さんが、各民泊営業上の問題点などを指摘、業者を指導するよう、市に要請されました。

チェックインの時に営業者が不在で、客が独自に出入りしている、深夜にも騒音がしているが、オーナーに連絡しても電話に出ない、出ても生返事ばかり、そもそも連絡先も分からない、実際に営業しているのに、市の許可施設一覧表には載っておらず無許可営業ではないのか、等々、個別の指導を要請されました。今後も、具体的な事例を井上議員までお寄せ下さい。一緒に市に行きましょう。

※長屋の一軒が民泊になる場合、防音の為に壁を

その他、今回の対政府聞き取り調査では、

「消費税として払ったお金に色もついていない。増税と軽減拡充はセットではない。仮に別の財源策を講じれば、増税しなくても拡充はできるはず」等々と質問。これについても、「仕組みとしてはご指摘の通り」と、まことに明快な回答でした。

いずれも、京都市議会の今後の議論に生かせる材料を得られ、また身近な生活相談から出発し、とことん追及できたことなど、大きな成果を得ることができました。

※更に、ブロック塀の建て替え補修工事への国の助成金の運用が可能かどうか、等々についても聞いてきました。

※昨年来、障害年金受給者に対し、障害の程度は変わっていないのに、「あなたの障害程度では打ち切りの可能性あり」との通告が発信されてきた問題について、また高齢年金も昨年来、不当に減額された方がおられ、それぞれ経過について聞きました。

8月27日、党市会議員団代表が政府への聞き取り調査に取組み、大きな成果を得ました。法律の解釈や制度の運用などについて、市議団でいくつかの質問テーマを決め、政府各省に、直接聞きに行く企画です。こくた恵二・倉林明子衆参両議員のあっせんです。直接の要望・交渉というものはありませんが、勿

介護保険料の軽減に向け、自治体が一般会計から補填することの可否について

は、「全国一律の制度だから繰入れはしない」と答弁。この考え方に反論するため、今回のテーマに設定。厚労省の担当者は、「補填は適当でない」と国は思っ

論、言外には要望も含まれています。また行きますので、具体的なご意見質問などがあればお寄せ下さい。



も消費税増税しなくても  
介護保険料軽減は可能

てはいるが、法的根拠はない。単なるお願い。自治体の判断でやってもらった方がいい」との回答でした。市長が繰入れをしないのは、国の制度が理由ではなく、軽減への気持ちがないからということになりました。

厚くする義務の有無、

**日本共産党 田村智子副委員長を迎え  
南区9.14演説会**

人間らしい働き方、子ども一人ひとりを大切に育てる、命とくらしを大切に作る政府、憲法をいかに戦争を許さない日本

私たちの話をぜひ一度お聞きください  
参加無料  
どなたでもご参加ください

9月14日(金)  
午後7時～午後8時

会場  
京都テルサ  
大会議室(東館3階)

【お問合せ先】 日本共産党京都市会議員団 371-9164

